



成瀬ダム堤体打設工事 工事だより

[第9号]

[発行元] 2020年8月発行
鹿島・前田・竹中土木JV 成瀬ダム堤体打設工事事務所
〒019-0803 東成瀬村椿川字立石30-1
TEL: 0182-23-5185 WEBサイトはこちら
FAX: 0182-23-5186 (担当: 松村) www.narusedam.jp



工事に関してご不明な点がございましたら、お気軽にお電話ください。

今月下旬からA⁴CSELによるCSG打設が昼夜施工となる予定です！



ダムサイト全景（下流より）2020年7月撮影

ご挨拶

副所長の出石 陽一（いずし よういち）と申します。私のダム経験としては、約10年前、鳥取県のダム現場に約4年半、従事しておりました。約3年前からは本社の自動化施工の専門部署に所属し、鹿島の次世代建設生産システム「A⁴CSEL（クワッドアクセル）」の開発を担当しておりました。今回、「A⁴CSEL」を成瀬ダムに全面導入するため、15名のメンバーとともに当現場に参りました。昨秋から、現場で様々なA⁴CSELの試験（重機の連携、フォーメーション、打設等）を行ってまいりましたが、現在は自動化施工の本格稼働に向けての最終調整に入っております。完成形としては、全23台の自動化重機が同時に稼働することになりますが、まるでシンクロナイズドスミミングのように息を合わせ、フォーメーションを維持しながら、昼夜を問わず稼働する予定です。自動化施工は建設業の未来の形であり、真の「安全・安心」がそこにはあります。是非みなさん、建設業の最先端を担う当現場にお越しくください。



鹿島・前田・竹中土木
特定建設工事共同企業体
成瀬ダム堤体打設工事事務所
副所長（自動化担当）
出石 陽一（鹿島建設）

工務1グループ長の中川 進（なかがわすすむ）と申します。ダム現場としては、今までに5か所のダムに携わり、成瀬ダムで6か所目となります。私が担当するグループの業務の一つとして、生産性向上に取り組んでおります。現在、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や育児介護の両立などが求められる環境で、やりがいをもって仕事することが求められています。そういった働き方改革を実現するために、機械化・自動化施工というハード面だけでなく、各業務を「省力化・効率化」させる業務の工夫や、ITツール等を活用していくことが必要です。例えば、当たり前のように取り組んでいる業務ひとつをとってみても、今までの常識や慣習に捉われず、常に改善できる部分がないかを新たな視点で模索することが重要です。多様なITツールを積極的に取り入れながら、業務の生産性向上に取り組んでいきたいと考えております。これからもどうぞよろしく申し上げます。



鹿島・前田・竹中土木
特定建設工事共同企業体
成瀬ダム堤体打設工事事務所
工務1グループ長
中川 進（鹿島建設）

工事概要

工事名 成瀬ダム堤体打設工事(第1期)
発注者 国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所
工事場所 秋田県雄勝郡東成瀬村椿川地内
水系 1級河川 雄物川水系成瀬川
地質 緑色凝灰岩・凝灰角礫岩・凝灰質泥岩
工期 2018年5月9日～2022年12月9日
(1,675日、約55ヶ月)
ダムの目的 洪水調整(F)・流量機能維持(N)・農業用水の補給(A)
水道用水の供給(W)・発電(P)

今後の予定

8/4 安全大会（密集回避のため分散して開催）
8/11 職長会パトロール
8/13～16 現場閉所
8/20 安全衛生委員会
8/25 職長会パトロール
8/27 災害防止協議会

8月1日現在の人数 元請職員 92人
作業員数 414人
合計 506人

工事 現況写真



左岸（施工状況）
2020年7月撮影



右岸（施工状況）
2020年7月撮影

現況報告

6月23日、成瀬川漁業協同組合のイワナの放流活動にJVから2名が参加し、成瀬川に合計1000匹のイワナを放流しました。6月30日には、JAXA監修のAR体験型絵本と当工事の子ども向けパンフレットを東成瀬村に60部寄贈しました。これらは「学力日本一」の東成瀬村の小学校の教材として活用されるとのことです。また、7月には「成瀬ダムふれあい農園」で大根や茄子、ジャガイモ、トマトを収穫しました。「成瀬ダムふれあい農園」は地元の方々にご協力いただき、畑を耕すところから始めたものです。たくさんのご支援ありがとうございました。



【イワナ放流活動（2020年6月）】
イワナを生け簀から移している様子



【絵本とパンフレット寄贈（2020年6月）】
佐々木村長と鶴飼教育長にお渡ししました。



【成瀬ダムふれあい農園（2020年7月）】
師匠の高橋さん（写真右上）との記念写真